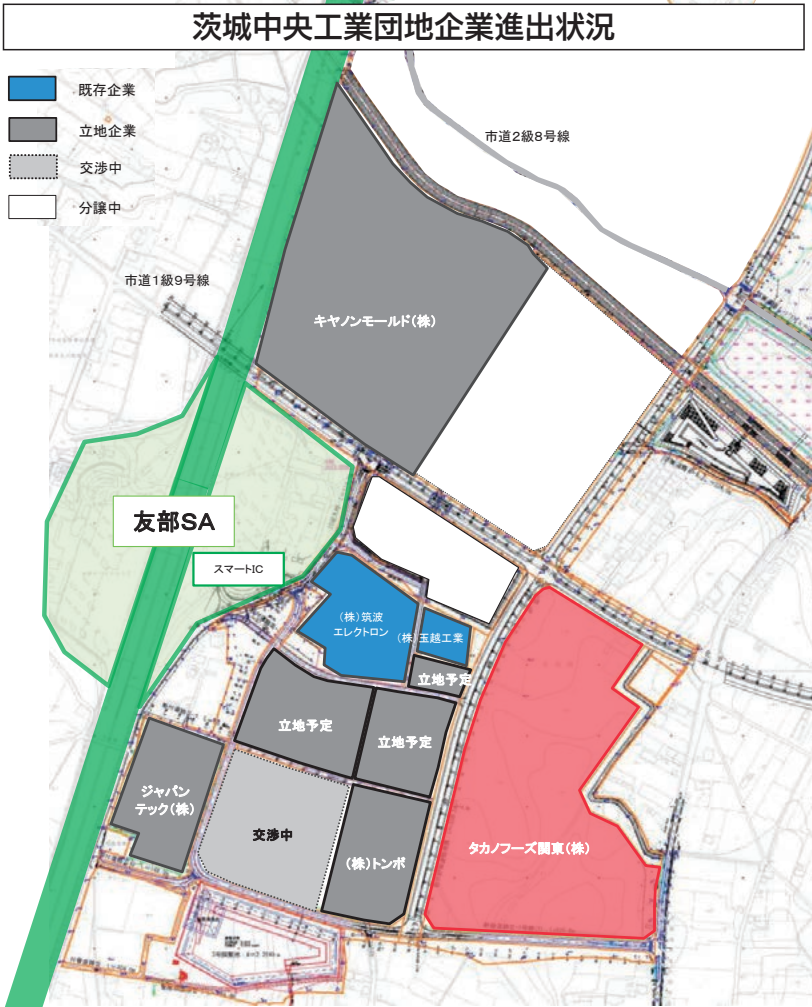




コ
ン
デ
キ

こんな出来事ありました



1

1 タカノフーズ水戸第三工場起工式

8月29日(木)、茨城中央工業団地笠間地区内で、タカノフーズ株式会社が水戸第三工場建設を行うため起工式式典を挙行しました。
 竣工は2020年を予定していて、敷地面積は約10・8ha。
 式典には関係者約30名が参加し、タカノフーズの高野社長による鉄入れや玉串奉奠が行われ、建設中の安全を祈願しました。

8/29

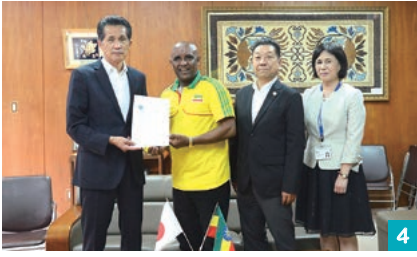
■高野社長は、「水戸第三工場は、オートメーション化することで、タカノフーズの核となる施設とする予定です。」とあいさつしました。今後も地域活性化に向けた取り組みをお願いします。



1



1



左から、山口市長、アベベさん、今泉教育長、小田野教育次長



笠間市遺族連合会 海藤清治会長



参加した子ども達とAET

2

夏の英語イベントを開催

8/1

笠間市のAET（英語指導助手）が講師を務める夏の英語イベント『小学1～4年生向けサマージングリッシュユフェスティバル』（8月1、7、9日）と『小学5年生～中学3年生向け夏季英語集中プログラム』（8月21～24日）が今年も開催されました。

延べ220名以上が参加し、AETとの会話や、さまざまな活動を通してたくさん生の英語に触れることができました。

参加した子ども達からは「英語を使って色々な活動ができてとても楽しかった。」「英語で笠間市のことを表現したことが勉強になった。」との声がありました。

3

平和への祈りを込めて

8/10

先の大戦から、74年を迎えました。

8月10日（土）、本市関係の戦没者等の御霊に対して追悼の意を表するとともに、ご遺族のご苦労に對し深い敬意を表し、笠間公民館で笠間市戦没者追悼式が行われました。

参加者は静かに黙とうを捧げ、一人ひとりが想いを込めて献花を行い、恒久の平和を祈念しました。

4

スポーツ国際交流員にアベベさん着任

8/21

スポーツ国際交流員（SEA）としてアベベ・メコンさんがエチオピアから来日しました。東京国際マラソンで3度の優勝経験があり、オリンピックにも出場されたことのあるアベベさん。

これから、笠間市のスポーツの振興のため、来年のオリンピックのホストタウン事業、そして中学校を中心に部活動の指導もしてくれる予定です。

※笠間市は2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会においてタイ・エチオピア・台湾のホストタウンに登録され、大会前、期間中、終了後それぞれ別の国との交流を計画していきます。

5

高齢者の見守りの充実を図る

8/26

8月26日（月）、笠間市と笠間警察署は認知症高齢者等支援事業の情報共有に関する協定の締結調印式を行いました。

これは市で4月から始まった、認知症の高齢者にGPS機器の貸し出しを行う事業に関して、事前に利用者の情報を笠間警察署に提供することで、認知症の高齢者が行方不明などになった際の捜索に役立てるためのものであります。

このような警察署と市の協定は県内初。笠間市は相互に支えあい、優しさで心が通い合う地域をつくりまします。

6

中学生が関東・全国大会で健闘

8/28

8月28日（水）、中学校関東・全国大会出場選手報告会が行われ、空手道、相撲、陸上、卓球、水泳の5種目22選手が参加しました。

市長からは「今年は茨城国体、来年はオリンピックがあり、笠間の選手も活躍が期待されています。トップ選手のプレーを見て、さらに活躍できるようがんばってください。」と生徒達へエールが送られました。

7

無形民俗文化財盆綱を残そう

8/21

お盆の時期に県内各地で行われてきた「盆綱ぼんづな」。近年、急速に行事が行われなくなってきたことから、全体像を記録に残すため、県教育委員会を中心に実施状況や行事内容について調査が行われています。

現在、市内で盆綱を行っているのは、大古山・倉作・五平の3地区。綱を抱えてまちを歩いたり、綱を引きあつたりするなど、地区独特の風習が残っています。

盆綱は、希少な風習として国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に登録されています。



藁でできた約5 mの盆綱を引き合う様子（大古山地区）



関東・全国大会に出場した選手の皆さん



協定書を手にする山口市長（左）と山崎笠間警察署長（右）